

平成 23 年 2 月 9 日

各位

会社名 アンジェス MG 株式会社
代表者 代表取締役社長 山田 英
(コード番号 4563 東証マザーズ)
問合せ先 経営企画部長 鈴木 文彦
電話番号 03-5730-2480

HGF の医薬用途特許が成立(日本)

－ 高圧酸素療法との併用による、血管新生因子遺伝子治療の効果向上が対象 －

当社は、日本において、HGF を始めとする血管新生因子遺伝子治療と高圧酸素療法の併用に
関する医薬特許が成立し、特許公報(特許第 4, 623, 719 号)が発行されたことをお知らせします。

本特許は、重症下肢虚血、または心筋梗塞、狭心症、および心不全を含む虚血性心疾患に対
し、各種血管新生因子遺伝子治療と高圧酸素療法を併用することにより、遺伝子導入効率を一層
高め、安全かつ一層効果的な臨床的遺伝子療法を可能とするものです。

なお高圧酸素療法(hyperbaric oxygen therapy, HBO)とは、減圧症や一酸化炭素中毒などの
救急疾患に加え、組織に十分な酸素を供給することにより皮膚/筋肉/神経などでの虚血症状改
善にも実施されており、具体的には、気密チャンバー(酸素室)内で一定時間、2気圧程度の純粋
酸素雰囲気下に置くものであり、四肢末梢の難治性潰瘍治療にも広く臨床応用されております。

本発明においては、動物実験の結果、高圧酸素療法併用により遺伝子導入効率が有意に向上
することが確認されており、高圧酸素療法そのものとの相乗効果により、当社の HGF 遺伝子治療開
発プロジェクトを一層強力にサポートするものです。

なお、当社は海外においても同様の権利を有しており、国際臨床開発にあたり特許網構築を図
っております。

米国特許;第 7, 259, 149 号(2007 年 8 月登録)

欧州特許;第 1, 567, 197 号(2010 年 7 月登録)

豪州特許;第 2003302590 号(2009 年 2 月登録)

さらに当社は、本特許以外にも HGF 遺伝子治療に関わる各種医薬用途についても順次追加特
許出願しており、臨床応用範囲の拡大に向けて努力して参ります。

なお、本件による本年度業績への影響はありません。

以上